

1 地震・津波の概要

項目	時刻	対応等
地震発生	平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分頃	震 度：4 震央地名：三陸沖 震源の緯度、経度：北緯 38° 06.2′ 東経 142° 51.6′ 震源の深さ：24km マグニチュード：9.0
大津波警報発表	14 時 49 分	災害対策本部設置（職員 2 号非常配備）
避難指示	14 時 50 分	防災行政無線等により避難指示
津波到達	15 時 28 分頃	小本、中野、茂師、小成地区へ津波襲来 津波痕跡高 20.2m 浸水区域面積 小本、中野地区 約 125ha 茂師、小成地区 約 6ha
津波警報に切替	12 日 20 時 20 分	
津波注意報に切替	13 日 7 時 30 分	
津波注意報解除	17 時 58 分	同時刻で避難指示解除

2 死亡者数（平成 25 年 12 月 31 日現在） ※行方不明者 0 人

区分	人数	性別		被災場所等
		男	女	
死亡	13	8	5	・町内（小本）4 人 ・宮古市（田老）4 人 ・石巻市 1 人 ・田野畑村 1 人 ・関連死 3 人 （内訳：津波死亡—10 人、津波以外—3 人）

3 避難者数（平成 25 年 12 月 31 日現在）

- ・0 人 最大避難所数 10 ヲ所（平成 23 年 3 月 11 日） ※ 延べ避難所数 12 ヲ所
- 最大避難者数 487 人（平成 23 年 3 月 12 日）
- ※ 平成 23 年 5 月 31 日全ての避難所を閉鎖

4 被害額（平成 25 年 12 月 31 日現在）

水産関係 27 億 1 千万円、農業関係 3 億 4 千万円、道路関係 2 億 8 千万円  
 学校・保育園・支所関係 4 億 8 千万円、住宅関係 4 億 8 千万円、その他 1 億 2 千万円  
 合計 44 億 1 千万円（推計）

5 被害家屋数（平成 25 年 12 月 31 日現在） ※被害家屋＝「住家」

被害程度	棟数	備考
全壊	177	流出 80、全壊 97
大規模半壊	10	
半壊	13	
一部損壊	8	
合計	208	

※ 一部損壊の数値は、津波による被害家屋数に地震による被害家屋一部損壊 6 棟を認定し加えている。

## 6 農地、漁船、車輛の被害状況（平成 25 年 12 月 31 日現在）

- ◎ 農地……水田 21 ha  
……畑 2 ha
- ◎ 漁船……漁船 266 隻（登録漁船 292 隻 被害なし 26 隻）
- ◎ 車輛……普通自動車 72 台  
……軽自動車 79 台  
……原動機付自転車 31 台  
……小型特殊 15 台

## 7 義援金等の配分・受付・交付状況（平成 25 年 12 月 31 日現在）（単位：円）

区分	内容	配分・受付額	交付状況	備考
国・県義援金	第 1 次配分金	100,000,000	100,000,000	
国・県義援金	第 2 次配分金	206,403,000	206,403,000	
国・県義援金	第 3 次配分金	40,673,000	40,673,000	
合計		347,076,000	347,076,000	
町災害義援金	個人 341 件	11,233,492		
町災害義援金	団体 229 件	36,249,261		
バザー等売上		9,013,178		
合計		56,495,931	54,880,094	
町災害見舞金			10,400,000	
総計		403,571,931	412,356,094	

## 8 ライフラインの状況

- 電気（平成 23 年 4 月 1 日復旧）、水道（平成 23 年 3 月 29 日復旧）
- 電話（平成 23 年 3 月 30 日復旧）
- 国県道通行支障なし、町道小本中野線（平成 23 年 3 月 25 日通行可）
- 三陸鉄道（小本～野田間代替えバス運行）、JR 岩泉線（岩泉～宮古代替えバス運行）

## 9 仮設住宅入居の状況

3 団地 143 戸の仮設住宅への入居（平成 25 年 12 月 31 日現在）

- ・岩泉団地 39 戸（27 世帯 30 戸 残 9 戸 入居者数 54 人）
- ・小本団地 84 戸（74 世帯 79 戸 残 5 戸 入居者数 188 人）
- ・小成団地 20 戸（14 世帯 14 戸 残 6 戸 入居者数 27 人）

## 10 災害公営住宅の入居の状況（平成 25 年 12 月 31 日現在）

- ・岩泉地区災害公営住宅 15 戸（12 世帯 12 戸 残 3 戸 入居者数 21 人）
- ・小本地区災害公営住宅 36 戸（平成 26 年 3 月完成予定）

## 11 町への寄附金の状況

寄附金（平成 25 年 12 月 31 日現在）

震災以降の寄附の状況は次のとおり。なお、寄附金は災害復興事業に活用

- ・個人： 65 人 23,346,041 円
- ・団体： 117 団体 76,416,009 円 計 99,762,050 円

## 12 関係機関等の活動内容

### (1) 消防団

消防団が人命救助、宮古市田老地区火災応援、がれき除去等を実施  
活動日数 14 日間 延べ 1,491 人（平成 23 年 3 月 11 日～25 日）

### (2) 警察

岩泉警察署及び県外特別派遣部隊が人命救助、捜索、被災地警戒等を実施  
県外特別派遣部隊 13 県から延べ 3,750 人（平成 23 年 3 月 12 日～7 月 27 日）

### (3) 自衛隊

陸上自衛隊第 2 師団（北海道）360 人が、ふれあいらんど岩泉を拠点に、本町、宮古市田老地区、田野畑村等で捜索救助、物資輸送及びガレキ除去等の活動を実施（平成 23 年 3 月 15 日～4 月 29 日）、以後本来の支援部隊である岩手駐屯地第 9 師団第 9 特科連隊に指揮が移り、避難状況確認や自衛隊協力ニーズ調査を実施（週 1 回）

### (4) 昭島市職員の派遣

国内交流で親交の深い昭島市職員が拾得物の整理、避難所の保安業務等に従事  
活動日数 25 日間 延べ 100 人 平成 23 年 3 月 27 日～4 月 27 日

### (5) 県及び国の職員支援

- ・県一拾得物整理 1 週間 延べ 30 人
- ・国（東北農政事務所）一救援物資の仕分け作業 1 週間 延べ 10 人
- ・国（盛岡財務事務所）一避難所の保安業務 平成 23 年 5 月 1 日～5 月 23 日 延べ 46 人

### (6) ボランティア

町社会福祉協議会がボランティアの取りまとめを行い、延べ 2,096 人で支援物資の仕分け、がれき除去等の活動を実施（平成 23 年 3 月 12 日～7 月 20 日）

## 13 その他被災者対策等（平成 23 年 9 月 30 日現在）

### (1) 東日本大震災犠牲者合同お別れ会

町民会館で、遺族など約 600 人が参列し、東日本大震災犠牲者 9 人の冥福を祈る合同お別れ会を実施（平成 23 年 4 月 10 日）

### (2) 被災者と町長との意見交換会

小本地区の復興に係る被災者と町長との意見交換会を実施  
・平成 23 年 4 月 16 日－町民会館 約 160 人

・平成23年5月8日—龍泉洞温泉ホテル 約150人

(3) 避難所内の環境改善

町民会館と龍泉洞温泉ホテルで、避難者のプライバシーを守るため大部屋に間仕切りを設置（設置期間：平成23年4月8日～5月19日）

(4) 炊き出し応援

町自主防災組織、婦人防火クラブ、漁協婦人部、(株)日本一、積丹町観光協会、青森県平内町、みらいカンパニー、日本たこ焼き党、菓膳レストラン「縁樹」、町民ボランティア等が炊き出しを実施

(5) 慰安音楽会ほか（平成23年度分）

- ・町民会館 — 不来方高校音楽部（4月6日）、陸上自衛隊第9音楽隊（4月8日）、南部牛追唄保存会（4月20日）、平原綾香コンサート（6月23日）、スローフード岩手・みやこ映画生協：映画上映（6月25日）、荒馬座公演（7月18日）、台湾観光応援舞踊団（8月2日）、チームリカバリー：プロレス公演（8月4日）、早稲田大学コンサート（9月17日）
- ・温泉ホテル — 仙台てっぺ会：落語とウクレレ演奏（4月23日）
- ・仮設住宅（小本団地集会所ほか） — 映画屋とその仲間たち（5月27日、7月22日、9月23日）、木村音楽事務所（6月11日）、ひめしゃら塾野口祥子：舞踏公演（7月17日）、ヨーヨー教室（7月18日）、牛島智子：杉の葉線香づくり（7月30日）、バークナー・ダン：讃岐うどん提供（8月25日）、ヨーガ教室、ユイファ・ジャポン：お茶会開催
- ・小本駅前 — 宮古音響（7月31日）

(6) 各種相談会の開催（平成23年度分）

相談会名	町民会館	龍泉洞温泉ホテル	その他会場
司法書士相談会	4月7日	4月7日	
無料法律相談会	4月8、15、22日	4月8、15、22日	
年金相談会	4月20日	4月20日	
特別出張労働相談会	—	4月25日	
法務局、国税局、労働局、年金事務所、行政評価事務所相談会	—	—	5月26日
労働問題相談会	—	—	6月8日
行政相談会	—	—	8月30日小本・岩泉団地
福祉なんでも相談会	—	—	9月1日小本・岩泉団地

上記期間以降については、岩手労働局、税務署などが随時相談会を実施

(7) 車輛の寄贈、復興支援フェスティバル開催

- ・車輛寄贈 昭島市医師会 — 三菱コルト プラス（1300 cc）  
東京都医師会と昭島市医師会 — 三菱RV R（1800 cc）  
東京昭島ロータリークラブ — ホンダフィット（1300cc）  
神奈川県川崎市 — スズキエブリィ（車椅子移動車）（660cc）と車椅子
- ・フェスティバル 昭島市：東北地方・岩泉町復興支援フェスティバル  
平成23年8月7日（日） 東京都昭島市 昭和飛行機工業（株）敷地内

(8) 台湾嘉義県議会ホームステイプログラム

— 日本に福来れ！台湾には愛がある —

- ・実施期間：平成 23 年 7 月 27 日（水）～8 月 5 日（金）
- ・対象者：岩泉町立小本中学校の全校生徒（38 人）及び教職員
- ・目的：① 震災によって傷ついた子どもたちの心を少しでも癒すこと  
② 台湾と日本の次世代を担う子どもたちが国境を越えての草の根交流の実現

## 14 復興対策本部の設置

町の復興と地域住民の生活再建及び計画の推進を図るために、平成 23 年 4 月 25 日付で「町震災復興対策本部」を設置

- ・平成 23 年 5 月 20 日町議会全員協議会に「町震災復興計画（骨子案）」を提出
  - ・町東日本大震災復興委員会
    - 第 1 回 平成 23 年 6 月 30 日（木）
    - 第 2 回 平成 23 年 7 月 22 日（金）
    - 第 3 回 平成 23 年 8 月 11 日（木）
    - 第 4 回 平成 24 年 2 月 23 日（木）
  - ・平成 23 年 9 月町議会定例会に町震災復興計画（案）提案、採択される。
  - ・町震災復興対策本部会議
    - 平成 23 年度 4 月 26 日～2 月 1 日 17 回開催
    - 平成 24 年度 4 月 26 日～1 月 18 日 6 回開催
    - 平成 25 年度 5 月 10 日～1 月 20 日 3 回開催
- ※平成 23 年 8 月 31 日 17 時

おおむね災害応急対策が終了したことから、災害対策本部を廃止

## 15 その他事項

(1) がれき処理

県では、宮古市隣港通の市魚市場脇のがれき 12,083t を緊急措置として、本町小本須賀地区にある仮置き場へ移転

平成 25 年 12 月末現在、災害廃棄物推計量 64,220t（災害廃棄物 30,100t、津波堆積物 34,120t）を処理済み。